

# あなたは気づいていますか？ 身近にある電気火災の危険に・・・



こんにちは！！  
今日は皆さんに火災事例から、身近にある電気火災を紹介したいと思います！  
**あっ！**自己紹介が遅れました！私は滋賀県の消防職員の火災調査に対する熱意から生まれた**火災調査マン**です！

## Episode 1 生活の変化

最近の電気火災を語るうえで欠かせないのは、皆さんの身近にある家電製品の変化です。  
その大きな変化の一つは・・・**小型化です！**

**POINT** は**小さくパワフルな電池**が開発されたことで、家電製品は小さくなりました！  
つまり・・・**皆さんの身の回りはパワフルな電池で溢れています！**

例えば、**ハンディ掃除機、ハンディ扇風機、モバイルバッテリー、携帯電話、充電式ライト、電子タバコ、デジカメ、自走式掃除機**などなど



## Epi Sode2

## パワフルな電池

小型家電に入っているパワフルな電池とは・・・

**リチウムイオンバッテリー、リチウムイオンポリマー**と言われるものです。  
ではなぜ、パワフルな電池が**危険だ**と思いますか？

それは、**電池がショートした時に、パワフルなだけに大きなパワーで燃え上がってしまうからです！**



リチウムイオンバッテリー

左側がリチウムイオンバッテリー、右側がリチウムイオンポリマーです。  
これらは皆さんが目に見えませんが小型家電の中に入っています。



リチウムイオンポリマー

・・・皆さん今、「**電池ってそんなに燃えるの？**」とっていませんか？

**喝**

それでは、**パワフルな電池が燃えるところを裏面でお見せしましょう！**



## Episode 3 実験

1つ目の実験は「**リチウムイオンバッテリーを加熱する**」実験です。



リチウムイオンバッテリーを加熱します。



加熱後しばらくすると突然火花が飛び散り、轟音と共に炎が吹き出します。

2つ目の実験は「**リチウムイオンポリマーに衝撃を与える**」実験です。



リチウムイオンポリマーを鉄の棒で突き刺し、衝撃を与えると・・・

調



衝撃を与えた瞬間発煙して、激しく燃え上がりました！



調



リチウムイオンバッテリーが入っている小型家電の取扱いの注意点は、

- 1、熱くなる所に放置しない！（ストーブの前や高温となる車内で放置しない。）
- 2、衝撃を与えない！（投げ捨てる、折り曲げる、動物にかまれるなどしない。）
- 3、廃棄する時は各自治体の廃棄方法に従う！（ゴミ箱に捨てると、ごみ回収時に火災となる恐れがあります。）

## Episode 4 火災事例

ネットショッピングで購入した、ハンディ掃除機に使う**海外製**のリチウムイオンバッテリーが、置いているだけで出火しました。これは**海外で製造された非純正品のリチウムイオンバッテリー**で**PSEマーク**が付いていない製品を消費者が知らずに購入したことで、火災となった事例です。安全性を満たしていないものは**加熱や衝撃を与えなくても燃えだすことがあります。**

※PSEマーク：電気用品安全法に基づき電気製品が安全性を満たしていることを示すマークです。

お問い合わせは、お近くの消防局・消防本部（火災調査マン）まで

- ・大津市消防局 予防課 調査係・・・・・・・・電話 077-525-9902
- ・湖南広域消防局 消防救助課 火災調査係・・・・・・・・電話 077-552-8825
- ・甲賀広域行政組合消防本部 警防課 火災調査係・・・・・・・・電話 0748-63-7934
- ・東近江行政組合消防本部 警防課 調査係・・・・・・・・電話 0748-22-7604
- ・彦根市消防本部 警防課 調査係・・・・・・・・電話 0749-22-0337
- ・湖北地域消防本部 予防課 調査広報係・・・・・・・・電話 0749-62-5194
- ・高島市消防本部 予防課・・・・・・・・電話 0740-22-5403